

DBJ企業金融第4部・航空機ファイナンスの取組

- 運輸交通セクターを所管。海運、航空産業を国内外で一体的に取り組んでいる。
- 航空分野については、エアライン、航空機リース会社、空港会社、航空関連事業者、投資家等、幅広い関係者と連携。
- 航空機における国際的な取り組みは2011年に開始。ローンを中心に、設備投資資金ニーズが旺盛な業界と日本の投資家をつなげる役割を担う。

取組意義

- DBJの新たなビジネスの開拓
- ゲートウェイ機能の発揮
- 本邦航空業界への還元

取組の経緯

2011年

- ✓ チーム創設
- ✓ 投融資を開始



2012-13年

- ✓ ジュニアローンファンド出資



- ✓ 地銀参画案件



- ✓ 地産地消シローン



- ✓ Airbus New Comer of the Year 受賞



2014-16年

- ✓ 初の円建EETC組成



- ✓ 大規模シローンアレンジ



- ✓ Boeing Capitalとの業務協力協定



- ✓ Aviation Working Group 加盟



2017年-

- ✓ 世界初の保険活用ファイナンス



- ✓ 個別機材への投資実行



- ✓ 東京プロボンド

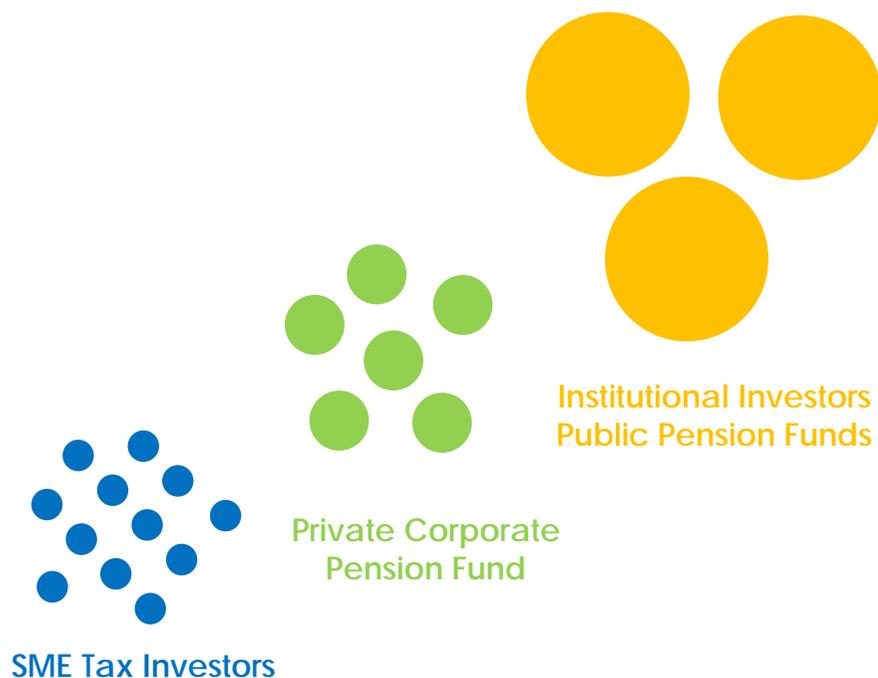


DBJ企業金融第4部・航空機ファイナンスの取組

- リーマンショックを経て2010年半ばから、第三者資本を扱うアセマネ型の航空機リース会社の参入が続く。
- コロナ後、一定の整理はあるも、大きな潮流は継続しており、コロナ禍における債権回収の経験などを踏まえ、従前のエアライン向け、コーポレートベースでの航空機リース会社ファイナンスに加え、第三者資本を扱うアセマネ型の航空機リース会社向けの投融資を強化中

■ 世界の航空機投資の潮流

- ✓ リーマンショック前後での航空機リース業界の業績を踏まえ、従前からのtax investorに加え、企業年金、機関投資家等の資金が流入



■ 航空機リース会社向けのDBJ投融資

- ✓ 従前はコーポレトリコース中心
- ✓ 2010年代半ばから第三者資本を扱うアセマネ型の航空機リース会社の勃興を受け、ノンリコローン開始
- ✓ コロナ後、債権回収の経験も踏まえ、アセマネ型のリース会社向けの投融資を強化中

